

# 平成30年度 全国学力・学習状況調査結果について

玉城町立外城田小学校

本年度4月に6年生を対象に実施された「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。朝食を毎日食べる・決まった時間に起きる・1時間以上の家庭学習を行うなど、ご家庭でのご協力がよくわかる結果となりました。本年度の結果からわかってきたことをしっかりと受け止め、子どもたちの未来のために、学校としての取り組みを一層進めて参ります。今後も、学校・家庭・地域が一つになって子どもたちの能力を最大限に引き出していくようご協力宜しく申し上げます。

## 調査結果からわかったこと

### ○設問ごとの結果からわかった本校の子どもたちの強み

**国語** 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。

日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う。

目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。

話し合いの参加者として、質問の意図を捉える。

話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。

目的や意図に応じて、文章全体の構成の効果を考える。

推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わることを捉える。

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく。

**算数** 小数の除法の意味について理解している。

異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。

単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している。

分度器を用いて、 $180^\circ$  よりも大きい角の大きさを求めることができる。

直径の長さと同周の長さの関係について理解している。

百分率を求めることができる。

折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる。

図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が $360^\circ$  になっていることを記述できる。

**理科** 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。

骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している。

土地の侵食について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。

より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる。

より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関連付けながら、分析して考察できる。

乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる。

電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。

ろ過の適切な操作方法を身に付けている。

実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。

### ●設問ごとの結果からわかった本校の子どもたちに今後つけていかななくてはならない力

**国語** 文の中にある主語と述語の関係などに注意して、文を正しく書く。

目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む。

**算数** 除法で表すことができる二つの数量の関係を理解している。

1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる。

示された表現方法を基に、空間の中にあるものの位置を表現することができる。

円周率の意味について理解している。

示された考え方を解釈し、ほかの数値の場面を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる。

メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる。

棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる。

折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる。

折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断することができる。

**理科** 太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる。

物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。

### 児童生徒・学校質問紙の結果から

---

#### 朝の生活リズムがしっかりしています。

本校では、朝食を毎日とる子の割合が全国平均と比較し高い数値となっています。また、朝決まった時間に起きるという子の割合も全国平均と比較し高い数値でした。ご家庭のご協力により、子どもたちは元気に登校できていると思います。引き続きご協力をお願いします。

## 家庭での学習習慣を付けていきましょう。

家で学校の宿題をする・授業の予習や復習をしている・自主学習において教科書を使いながら学習している子の割合が全国平均と比べ低い状況です。玉城町からでている「学習の手引き」をもう一度ご覧いただき、子どもたちの学習習慣が定着するよう、ご協力お願いいたします。その際、わからないところを教えるのではなく、一緒に調べたり、教科書やノートをもう一度読ませたりすることで、学習習慣だけでなく、自主学習の仕方も定着していくと思います。

## テレビやインターネットなどの時間を読書にしてみてもいい？

全国平均との差はありませんが、放課後や週末にゲームやインターネットなどを利用する割合が高くなっており、読書の時間が10分以下という子の割合が3割程度います。ゲームやインターネット等を使うときのルールを家庭で話し合い、今、ゲームやインターネットなどに使っている時間を読書にしてみてもいいでしょうか。読書は感性・情緒の基盤を成す言語に関する能力を育むうえで大切です。読んだ本について家族で話したり、ご家庭の「読書タイム」を作ってみることで読んで、ご家庭でも読書習慣を育てていきましょう。

## こんな問題が出題されました（算数）

### 今後つけていかなければならない力の問題

**算数B③ 情報の関連付けと解釈・表現及び判断（アンケートの結果調べ）**

**3**

しおりさんたちの学校は、「進んであいさつをする」と「本をよく読む」の2つのめあてに取り組んでいます。しおりさんたちは、7月と12月に、2つのめあてについて全校児童625人に対してアンケート調査をし、その結果を下のグラフに表しました。しおりさんは、グラフからわかることを2つのメモに書きました。

2つのめあてについて「取り組んだ」と答えた人数

めあて	7月	12月
進んであいさつをする	約570人	約50人
本をよく読む	約550人	約200人

メモ1

- 「進んであいさつをする」のほうが多いです。
- 「本をよく読む」のほうが多いです。

メモ2

- 「進んであいさつをする」のほうが多いです。
- 「本をよく読む」のほうが多いのは、なぜですか。

メモ1を見るも「進んであいさつをする」のほうが多いです。でも、メモ2を見るも「本をよく読む」のほうが多いですね。

メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが多いですが、メモ2では、「本をよく読む」のほうが多いのは、なぜですか。

メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについて何が書かれているからですか。

しおりさんが言うように、メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについて何が書かれているからですか。

(1) メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことが書かれているからですか。それぞれ書かれていることを、言葉や数を使って書きましょう。

---

しおりさんたちは、「進んであいさつをする」について、12月のアンケート調査の結果を、1・2年生、3・4年生、5・6年生に分けて調べました。そして、「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数を、グラフ1に表しました。

グラフ1

「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数（12月）

学年	人数
1・2年生	175人
3・4年生	200人
5・6年生	250人

グラフ2

「進んであいさつをする」についての割合（12月）

学年	取り組んだ (%)	あまり取り組めなかった (%)
1・2年生	約30%	約70%
3・4年生	約35%	約65%
5・6年生	約40%	約60%

(2) グラフ1とグラフ2を見て、次のようにまとめます。

「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数が、いちばん少ないのは [ ① ] です。

[ ② ] の、「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数の割合は、いちばん [ ③ ] です。

上の [ ④ ] にはまるものを、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の [ ⑤ ] にはまるものを、下の 4 と 5 から選んで、その番号を書きましょう。

1 1・2年生

2 3・4年生

3 5・6年生

4 小さい

5 大きい

いつ学習したことと関連するのでしょうか？

第3学年	棒グラフの読み方やかき方について学習しました。
第5学年	目的に応じて資料を集めて分類整理し、円グラフや帯グラフを用いて表したり、特徴を調べたりしました。 目的に応じて表やグラフを選び、活用する学習をしました。

### 教員も解いてみた結果から見えてきました

本校の子どもたちに多かった誤答は㉗に「3 5・6年生」・㉘に「4 小さい」を選択したものでした。2つのグラフではなくグラフ2のみで判断していると考えられます。このため、2つのグラフから情報を読み取り整理することができていないと考えられます。また、割合が低いと全体の人数も少ないと謝って理解していることも考えられます。

### 下のような取り組みをしています

あるグラフから読み取った情報が適切かどうかを検討したり、複数の結果から考察したりすることが大切です。そのため、算数科だけではなく、国語科の「資料を生かして呼びかける」の学習の際や理科の実験・結果・考察の一連の学習の中でも力がつけられるように取り組んでいます。

### 学級は次のことに取り組んでいます

- 読み・書き・計算という知識・技能がしっかりと定着するように、朝の学習や家庭学習において、継続して計算の問題・新聞記事を視写し要旨を捉える学習を行います。
- 授業の中で、自ら考え判断したり表現したりする場面を大切にして、全授業を組み立てています。特に、多面的な見方を見に付けるため、例えば、算数では複数の解法を考えることなどを取り入れています。
- 国語科で付けた書く力をもとに、他教科でも授業の振り返りを述べる際に、論理的に自らの学習の歩みが表現できるように、振り返りの書き方などを提示し取り組んでいます。